

# たすけあい名古屋

通信第155号

## 泣いた赤鬼



私が幼少のころ絵本の読み聞かせをしてもらい、印象に残った物語のひとつに「泣いた赤鬼」があります。心優しい赤鬼が友達の青鬼とのかかわり、人間とのかかわりをもって、何が本当に必要か？大切な居場所はどこか？ということをお願いしてくれる物語です。人間が大好きな赤鬼が、青鬼を犠牲にすることによって、一時的には人間と仲良くなるものの、本当に大切なものを失い居場所のなさを感じ、また赤鬼も人間の前を去ってしまうというあらすじ。子供心には深すぎて理解が難しかったのですが、今の年齢になりようやく理解ができました。今月は2月です。季節も節分ということもあります。ご家族で一度読まれてみてはいかがでしょうか？

本当に大切なのは、「人とかかわり、近くにある大事なものを忘れてはいけない。」という事。つい、現状を当たり前だと思ってしまって、近くにある物の存在の大きさを忘れて他のものをほしくなります。なくなってみて、はじめてありがたみがわかる事があるのです。当たり前と思っていたことが、実は当たり前ではなく尊かったという事実。当たり前とはなんなのか？このことは私たち福祉法人にも与えられた尊い命題です。

財政制度審議会の建議から、介護と医療に関する内容の要点をまとめました。

- ① 制度の持続可能性を踏まえた社会保障給付範囲。  
（軽度者へのサービスの地域支援事業への移行）  
介護保険外サービスの検討。明確なすみわけ。
- ② 必要な保険給付の効率的な提供（介護費の地域差縮減に向けた取組の一層の強化）
- ③ 高齢化や支え手減少を踏まえた給付と負担の見直し（介護保険の利用者負担）  
利用者負担を原則2割とするなど段階的に引き上げる必要を論議することに。  
（在宅と施設の公平性の確保 - 補足給付）
- ④ 補足給付対象者の資産状況の実態調査等を通じてその実像を把握し、現行の補足給付の要件等について見直しを検討（在宅と施設の公平性の確保 - 多床室の室料負担）

誰しも健康が当たりまえと思っていますが、介護が必要な時期もいつか公平に訪れます。『泣いた赤鬼』の教訓は、人は、自分は一体何者か考える事によって、自分を作っていくという事と、近くにある大事なものを忘れてはいけないという事でした。赤鬼は最後に泣きます。赤鬼は、何を思って泣いたのでしょうか？

2月からは暦も変わり、すべてが新しくなるといいます。他人事だと思いがちな、介護保険を含む医療制度改革の行財政改革の推移も、今一度自分事として考えてみてはいかがでしょうか？

きっと豊かな思考の先に、思いやれる優しさが見つかるはずです。私たち「たすけあい名古屋」は、未来を描ける福祉法人として、これからも努力してまいります。

（代表理事 熊田 光臣）



## 痛みに寄り添いながら体を動かそう



研修のようす

昨年鳴子地域で加藤先生の話と運動を2回行っているのですが、たすけあい名古屋の職員以外にも加藤先生目当ての地域の方も多く参加しました。加藤先生の、痛いから体を動かさないのではなく、痛いならば安静だけでなく、無理をしない範囲でできるだけ動くことで治して行こうという話にみんなが納得です。自分の身体は自分で支えるための運動が必要な現代社会です。

また、痛みの原因の多くが関節などの体と姿勢の歪みが多いので、みんなで運動を開始。しかし、実際に体を動かしながら痛みの原因と思われる体の歪みを直していく動きに、会場のいたるところから明るく楽しそうな悲鳴があがりました。

また飛び入りで、同じように痛みに寄り添いながら体を動かす運動を広めているロコモセラピーの小笠原陽子さんも参加されました。体が痛くても、関節や筋肉などの体のゆがみを治していこうという医療的なアプローチの2人が鳴子に来ていただいたことは、鳴子の介護予防が新しい段階に進む可能性を感じました。(正会員 木村 浩二)



お話の面白さと教え方の上手さで、とても人気のある加藤先生の研修がやっと実現いたしました。「腰痛予防と腰痛改善」というとても身近なテーマということもあり、地域の皆様にも大勢参加していただきました。

「この運動は左右10回ずつ、1日3回行いましょう。」とか「腹筋を鍛えるためにこれを1回20回、それを朝晩2回行わないと効き目がありません。」などの数字は気にせず、運動したい時にやりたいだけ運動したらいいと言う話や、「今日は2万歩以上歩いたわ。」「そんなに無理したらあかなくて。」ではなく、「2万歩以上歩いて良かったね。」と歩けるならいくらでも歩いたらいいという話はとても納得できました。また筋肉を鍛えるためのスクワットですが、椅子に座ろうとして腰を下ろし、そこにメガネがあることにハッと気が付き、そこで腰を上げる、と何かのCMのようですが、そのやり方だと膝に負担がかからないそうです。

身体は動かさないと動かなくなります。しかし、現代社会は身体を動かさなくても生活が成り立つようになってきました。「痛み」が出て初めて身体の「機能低下」に気付くのですが、痛かったら無理をしない、痛かったら安静にする、という言葉そのまま鵜呑みにすると「負のスパイラル」に突入してしまうという話は、なるほどとうなずくと同時に恐ろしささえ感じてしまいました。

私達を含め、地域の方々の介護予防に運動を取り入れるためには、加藤先生のご活躍に期待するところが大きいと痛感した研修でした。(介護みどり 長田 加奈子)

## 生活介護・児童デイかるむ（障害者総合支援）だより

1月25日に月に1回の外出レクで中華料理店に食べに行きました。お昼の時間帯で少し混みありましたが、普段と違うメニューで迷いながらもそれぞれ好きな物を選んで、待ち時間を過ごす事ができました。

中華飯、ラーメン、チャーハンなどをご利用者と職員で会話をしながら楽しい食事の時間を過ごすことができました。

また、来月の外出も楽しみです。みんなでどこに外出に行くかゆっくり考えていきましょう。  
(阿部 祐大)



中華料理店にて

## デイサービス鳴子だより



書初め中！

まだまだ寒さ厳しい今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

2月といたら、「鬼は外！福は内！」と子供たちの元気な声が聞こえてきそうですね。デイサービスでも豆まきをして、ご利用者、スタッフで声高らかに福を呼び込みました♪

写真は、新年恒例の書初めの写真です。  
皆様力強く今年の文字を書いておられました☆

(管理者 河合 尚武)

## 天白福祉会館だより

### 大盛況の天白福祉会館「演芸大会」

1月31日（木）10時～16時半まで天白文化小劇場で天白福祉会館の「演芸大会」を開催しました。昨年4月から講座および同好会の先生から習った歌や踊りなどを劇場の大舞台で披露しました。参加した講座・同好会は「詩吟」、「コーラス」、「民謡」、「英会話」、「カラオケ」、「民踊」、「フラダンス」、「和太鼓」、「マジック」、「ハーモニカ」等。

「演芸大会」のために、昨年11月から4回幹事会・実行委員会を行い、プログラムを作成しては変更を繰り返してきました。また、開催の前日まで練習に練習を重ね、当日もリハーサルを行って本番を迎えました。やはり、会場が違くと緊張感も尋常ではなく、ピンと糸を張り詰めた感じで演技の皆さんは舞台に立たれていました。

当日の参加者は600名を超す盛況ぶりで、天白区の渡部智恵区長にも挨拶をしていただきました。

来年度は、天白文化小劇場は工事のため閉館で、緑区徳重の緑文化小劇場で2020年1月31日（金）に開催を致します。今からご利用者は張り切ってみえます。c (館長 各務 芳春)



演芸大会

# 鳴子のおひさま (小規模多機能) だより

1月22日・23日と、「成海神社へ初詣と甘味を楽しむ会」に行ってお参りました。神社ではお賽銭を入れて、ご利用者は家族の健康や一年の無事をお祈りされていました。

甘味を楽しむ会では、恒例の甘味処でケーキセットを注文し、皆さま完食されました。

今年は天気にも恵まれ、久しぶりのお出かけにご利用者の明るい笑顔が広がり、楽しいひと時を過ごすことができました。  
(吉田 久美子)



成海神社

## トピックス

2月2日(土)の中部経済新聞にたすけあい名古屋の企業主導型保育園「たすけあい香久山保育園」が紹介されました。

同園は、園の内外装を名古屋学芸大学とのコラボでデザインし、日進市内の民間保育園で初となる病児保育も行うなど注目されています。

**内覧会 3月29日(金)  
30日(土)**

場所 日進市香久山3-201  
(Mio 香久山隣接)

時間 10:00~12:00  
13:30~15:00

※29日午前中は関係者向けです。

**オープン 4月1日(月)  
皆様、是非お越しください!**

経 済 新 聞

### 企業主導型保育園運営 たすけあい名古屋

## 日進に新施設 病児保育も

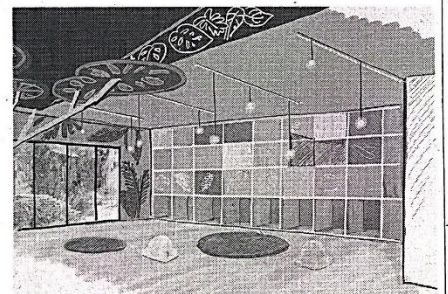


熊田光臣 代表理事

新設園の名称は「たすけあい保育園香久山」。延べ床面積約1500平方メートル、定員は22人。同法人と、同日進市浅田の木造平屋造り新設園の名称は「たすけあい保育園香久山」。延べ床面積約1500平方メートル、定員は22人。同法人と、同日進市浅田の木造平屋造り

### 学芸大デザイン協力 4月開園

特定非営利活動法人「たすけあい名古屋」(本部名古屋市長区鳴子町、熊田光臣代表理事、電話052-899-0833)は、日進市に2カ所目の企業主導型保育園を開設する。同市香久山のショッピングセンター「SC」Mio香久山に隣接する旧飲食店舗を改装、4月をめぐりに開園する。市内の民間保育園で初となる病児保育も行う計画だ。  
(水谷英志)



名古屋学芸大学がデザインで協力 (新保育園のイメージ)

### 特定非営利活動法人 (認定NPO法人) たすけあい名古屋

代表理事 熊田 光臣

〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町四丁目13番地

愛知県住宅供給公社鳴子第1住宅

TEL 052-899-0833

FAX 052-899-0800

Eメールアドレス: info@tasukeainagoya.com



たすけあい名古屋

長。多様な就労形態に対応した受け皿として、全国に2597カ所ある。日進市内には18年4月時点で5カ所となっている。  
同法人は1997年設立。2019年3月期は売上高3億円を見込む。保育事業の拡充に伴い、従業員数も4月には200人規模となる見込み。

